

慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resources

Title	及川恒忠先生略歴；主要著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	1960
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.33, No.2 (1960. 2) ,p.604- 607
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	及川恒忠先生追悼論文集
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-19600215-0604

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

及川恒忠先生略歴

明治二十三年九月	東京に生る
四十一年三月	宮城縣立第二中學校を卒業
同年四月	慶應義塾大學部豫科第一學年に入學
大正二年三月	同政治科卒業
同年四月	同助手となる
六年四月	中國事情調査のため二ヶ月の豫定で中國各地に留學
八年四月	一ヶ月の豫定で歐洲に留學
九年四月	講師後法學部及び經濟學部教授となり、「支那法制論」「東洋外交史」「支那經濟論」などの講座を擔當
昭和十七年四月	法學部長となる
二十一年二月	法學部長を退く
二十五年十月	慶應義塾評議員となる
三十四年一月	死去

及川恒忠先生主要著作目錄

著譯書

支那經濟事情

支那政治組織の研究
支那の幣制

最近支那政治制度史(上冊)（錢端升等著「民國政制史上冊」の翻譯）

中國政治史

論說

支那關稅改正問題と條約

支那と外國

支那古代の土地制

支那時局雜考

膠州邊經略上の一問題

山東省の作風(上)

時事新報社

啓成社

慶應出版社

慶應通信

大正十三年

昭和八年

昭和十六年

昭和十七年

昭和二十七年

外交時報第十九卷六號

外交時報第十九卷九號

慶應義塾學報二〇四號

慶應義塾學報二〇六號

慶應義塾學報二〇八號

外交時報第二十卷十一號

大正三年三月
大正三年五月
大正三年七月
大正三年九月
大正三年十一月
大正三年十二月
大正四年九月

山東省の作風（下）	三田評論二一九號	大正四年十月
支那國務總理論	法學研究第一卷一號	大正十一年二月
支那大總統論	法學研究第一卷二號	大正十一年六月
再び支那大總統に就て	法學研究第一卷四號	大正十二年七月
支那府院問題に對する一考察	法學研究第二卷二號	大正十二年十二月
支那今日の法制（一）	法學研究第二卷三・四合併號	大正十三年三月
支那今日の法制（二）	法學研究第三卷一號	大正十四年三月
支那工業の現狀に就て（一）	法學研究第四卷一號	大正十三年六月
支那工業の現狀に就て（二）	三田學會雜誌第十八卷二號	大正十三年七月
支那工業の現狀に就て（三）	三田學會雜誌第十八卷三號	大正十三年八月
孫江一氏の社會主義	三田學會雜誌第十八卷六號	大正十三年九月
再び江亢虎氏の學說に就て	三田學會雜誌第十九卷十二號	大正十四年十月
上海に於ける標價の取引	三田學會雜誌第二十卷一號	大正十五年十一月
上海外國爲營の趨向及漢口の金融市場の近況	三田學會雜誌第二十一卷七號	大正十五年十二月
上海銀行公會の支那國民經濟に於ける地位に就て	三田學會雜誌第二十二卷六號	昭和三年六月
支那憲法史抄	法學研究第九卷三號	昭和二年七月
國民政府の財政方針	法學研究第九卷四號	昭和二年十二月
支那勞働組合の歴史の一斑	三田學會雜誌第二十六卷十號	昭和五年九月

支那政黨史抄（一）
支那政黨史抄（二）
張知本氏の「民國憲法起草意見」の解説
「行憲國民大會」紀要

法學研究第十二卷一號 昭和八年三月
法學研究第十二卷二號 昭和八年六月
法學研究第十三卷一號 昭和九年三月
法學研究第二十一卷十二號 昭和二十三年十二月

（石川忠雄・篠島恒輔）